

本文書の使用にあたって（お願い）

本文書はサービスディスクリプション（Service Description）の和訳であり、英文の原文をご検討頂く際のご参考資料として作成されたものです。

訳文作成にあたっては、極力原文の内容を正確にお伝えできるよう努めましたが、原文と訳文の内容に差異があった場合には、原文の内容のみが効力を有するものといたします。

本サービスご購入の際には、原文の内容にご同意いただいたものとさせていただきますことを、あらかじめご了承くださいませよう、よろしくお願い申し上げます。

以 上

サービス ディスクリプション

Cisco Lifecycle Services

このサービスディスクリプションは、サービス契約（[サービスガイド](#) [英語] で定義）の一部であり、シスコがお客様に提供するさまざまなサービスを説明するものです。大文字で始まる用語の意味は、このドキュメントで定義されていない限り、サービスガイドに定めたとおりとします。

Cisco Lifecycle Services は、シスコ製品に対する現行のサポート契約を補完するものであり、お客様のネットワーク内のすべての製品が、Cisco Smart Net Total Care™/SP Base、Software Support Services (SWSS)、Solution Support、Limited Lifetime Warranty、ソフトウェア アプリケーション サービス、またはシスコ サービス パートナー プログラム内で提供されるパートナーサポートサービスなどの最小限のコアサービスを通じてサポートされている場合にのみ利用できます。

1. 概要

Cisco Lifecycle Services は、お客様が指定したビジネス成果に合わせて提供されます。なお、お客様のビジネス成果は、該当する見積書に明記されています。下表に、特定のビジネス成果のためにシスコが提供する Lifecycle Services を示します。

#	ビジネス成果の名前	コンサルティングで支援するお客様による取り組み
1	リスクの低減	お客様の環境における潜在的な問題と修復の機会を特定することにより、運用上およびビジネス上のリスクを低減および軽減する。
2	コストの削減	テクノロジーの革新、推奨するプラクティス、プロセスの改善により、運用コストを削減する。
3	強化されたセキュリティ	セキュリティ態勢全体を強化し、セキュリティ設定、ポリシー、および管理策を改善する。セキュリティポートフォリオとアーキテクチャの不一致を特定し、是正措置に関する推奨事項を提示する。
4	遵守の実証	不遵守を特定し、その不遵守に対処するための推奨事項と修復手順を提示する。
5	生産性の最適化	推奨するプラクティスを活用してインフラストラクチャまたは運用を改善することで、インフラストラクチャを最適化し、生産性を向上させる。
6	レピュテーションの管理/ブランドの向上	お客様のクライアントに望ましいエクスペリエンスを提供するデジタル機能用のインフラストラクチャを強化する。 デジタル インフラストラクチャを管理および保護するための IT チーム向けのエキスパートトレーニングを開発する。 評判と信頼性が高い事業運営を実現するためにセキュリティを最適化する。
7	新しいテクノロジーによるビジネス機能の実現	新しいビジネス機能の実現に役立つテクノロジーの導入を促進する。 テクノロジーイニシアチブを具体的なビジネス価値に変換し、イノベーション、成長、収益獲得を促進する。
8	デジタル トランスフォーメーション	デジタルテクノロジーとデジタル機能の導入を促進し、デジタル化によって新しいビジネスモデルを実現し、自動化、データ収集、およびツールによって運用プロセスを改善する。
9	収益の拡大	安定性を向上させ、お客様のクライアント間における信頼の高まりを導く。テクノロジーを進化させ、将来の成長を可能にする戦略的なインフラストラクチャを構築する。
10	エンドユーザー体験の改善	ユーザーの生産性を高め、ユーザーによる導入を促進する。 IT プロジェクトとセキュリティの効率を向上させる。 高パフォーマンスの作業環境（ハイブリッド、コラボレーション）を構築する。
11	カスタマーエクスペリエンスの改善	クライアントに影響を及ぼす障害を減らすことで、お客様のクライアントの満足度、忠誠心、ユーザーによる導入、および事業運営の容易さを向上させる。

Cisco Lifecycle Services には、以下で説明する**成果コンサルティング**、**デジタルインサイト**、および**プロジェクト管理**が含まれます。

1.1 成果コンサルティング

成果コンサルティングは、お客様が自ら指定したビジネス成果を実現することを支援するためにシスコが提供します。成果コンサルティングの一環として、シスコはお客様と協力して以下の活動を行います。

- お客様の優先順位と経営目標を特定する。
- お客様の環境を調査し、ビジネス成果に関連するベースライン測定基準を特定する。
- デジタルインサイト、ツール、および技法を活用して、改善すべき領域を分析および特定する。
- 対策と是正手順に関する推奨事項を提示する。なお、推奨事項のタイプには、構成の改善、アーキテクチャと設計の改善、パフォーマンスの改善、および推奨するプラクティスが含まれる場合がある。
- 推奨事項を実装するためのアクションプランを策定する。
- アクションプランの実施を支援およびサポートする。
- ベースラインと比較して、測定基準に関する継続的なスナップショットを提供する。

1.2 デジタルインサイト

成果コンサルティングをサポートするために、シスコチームはツールを組み合わせ使用して、定期的にインサイトを提供し、ベースラインを特定し、ベースラインと比較します。

ツールを通じてお客様に提供するデジタルインサイトの種類には、該当するビジネス成果に応じて、以下のインサイトを組み合わせられたものが含まれる場合があります。

- シスコ製品全体における類似するソフトウェア機能に関する設定の複雑さ、設定不備、一貫性がない設定に関連するインサイト
- お客様がシスコデバイスの独自の設定基準を指定し、これらの基準に照らして監査および報告する際に役立つインサイト
- 弱点の特定およびネットワークのサポート可否の単純化をサポートするために設計ポリシーと設計パターンのエンドツーエンドのマッピングを作成することで、ネットワークデバイス、機能、および関係を目に見える形でお客様に提示するインサイト
- 公開されたシスコの Field Notice の影響を受けるシスコ製品をお客様が特定および追跡する際に役立つインサイト
- 公開されたシスコ製品ライフサイクル マイルストーン（販売終了日、サポート終了日、サポート終了など）の影響を受けるシスコのハードウェアをお客様が特定および追跡する際に役立つインサイト
- ネットワーク設計の複雑さが増す原因になりうるデバイスポリシーの差異をお客様が特定する際に役立つインサイト
- 公開されたシスコ製品セキュリティアドバイザリのうち、影響度が「Critical」または「High」であるものの影響を受けるシスコ製品をお客様が特定する際に役立つインサイト

- ネットワーク内のデバイスがクラッシュするリスクをお客様が特定する際に役立ち、お客様によるリスク管理をサポートするためのガイダンスを提供するインサイト
- お客様のネットワークから得た拡張性に関する情報と検証済みの構成制限とを比較するインサイト
- お客様の構成に適したソフトウェアバージョンを推奨するインサイト
- ソフトウェア戦略、ライフサイクル管理、アップグレードの計画とトリガー、およびソフトウェアの導入に関する推奨事項に関連するインサイト
- シスコ製品から得られる運用およびパフォーマンスに関する Syslog データを分析することにより、シスコ製品にサービス上の影響が及ぶ潜在的なリスクをお客様が特定する際に役立つインサイト

1.3 プロジェクト管理

シスコのプロジェクトマネージャは次の作業を行います。

- シスコがお客様と協力して 90 日間にわたる Cisco Lifecycle Services の提供計画を策定するためのお客様とのミーティングをスケジュールする
- 次の項目を含む四半期レポートを提供する
 - Cisco Lifecycle Services のために実施したアクティビティと今後実施する予定のアクティビティ
 - Cisco Lifecycle Services のために提供したアーティファクトと今後提供する予定のアーティファクト

2. Scrum Service

Scrum Service は、お客様のビジネス成果領域に関する追加のコンサルティング機能の提供を受けるために使用されます。購入する Scrum Service の量は、見積書に記載のとおりとします。

Scrum Service の場合、次のアクティビティ（数は問いません）が含まれる場合があります。

アクティビティ領域	アクティビティの内容
戦略・計画の立案および最適なアーキテクチャ選定支援	アーキテクチャ戦略・計画の立案では、大まかな戦略から詳細な技術文書に至るまでのアーキテクチャ展開ライフサイクル全体でシスコソリューションを導入およびサポートするための戦略または計画をお客様が策定することを支援します。
設計支援	設計サポートでは、お客様の設計の段階的な変更やシスコテクノロジーの新規展開に関するガイダンスや推奨事項を提示することをお客様を支援します。
導入支援	導入支援（移行を含みます）では、お客様のソリューションの設計変更、依存関係、影響を受けるプロセスおよび文書を評価する際にお客様のエンジニアを支援します。
導入サポート	導入サポートは、お客様が策定した計画および設計を導入アクティビティまたは移行アクティビティ（これらのアクティビティにおけるシスコの役割を含みます）に移すことに焦点を当てています。
アセスメント・評価分析支援	テクノロジー アセスメントでは、シスコ製品のキャパシティ、信頼性、全般的なパフォーマンスおよび/またはセキュリティを最適化するためにギャップを特定し、推奨事項を提示することをお客様を支援します。
テスト計画の策定	テスト戦略とテスト計画の策定では、お客様がビジネス上および運用上のテスト要件とテスト環境の適合性を評価し、見直しまたは改善における優先順位を特定することを支援します。
テストの実施	導入アクティビティまたは移行アクティビティのサポートにおいて、お客様と協力し、計画されたテストを実行し、その結果を評価し、修復と再テストを支援します。
セキュリティアセスメント	セキュリティアセスメントでは、個々のシステムまたは相互接続しているネットワーク内の技術的弱点もしくは人的弱点またはその両方を特定します。これにより、侵害される可能性のある領域が特定され、修復の優先順位が決まります。

セキュリティレジリエンス	セキュリティレジリエンスは、サイバーセキュリティインシデントの可能性と影響を軽減するために、お客様がセキュリティ態勢を理解して改善できるようにするための戦術的プロジェクトおよび戦略的プロジェクトの実行に焦点を当てています。注：Scrum Service には、セキュリティインシデント対応サービスは含まれていません。
クラウド化支援	クラウド化支援は、お客様の経営目標を、定義済みの IT 目標が備わった成熟しているクラウド戦略に発展させ、これを実行する準備を整えるのに役立ちます。
マトリックス分析	マトリックス分析では、高度なパフォーマンス管理機能や機械学習機能を提供することにより、お客様がモビリティインフラストラクチャのパフォーマンスを管理し、既存の運用サポートシステムやビジネスサポートシステム（OSS/BSS）に障害を通知することを支援します。
オペラビリティ	オペラビリティでは、お客様がデジタルエクスペリエンスを強化し、IT のコストとパフォーマンスに焦点を当てることを支援するために、お客様の既存のシスコ製品を使用して専門家のガイダンスもしくはサービス保証またはその両方を提供します。
Service as Code	Service as Code では、企業が自社のネットワークインフラストラクチャの状態を定義し、ネットワーク要素をソフトウェアとして管理することを支援します。また、自動化支援の方法論を使用し、お客様によるプロビジョニング、設定、テスト、および展開を支援します。
アシユアランスサービス	アシユアランスサービスでは、障害管理や変更管理などの Day-2 運用機能においてお客様を支援します。

3. Expert as a Service

Expert as a Service では、見積書に記載されているサービスを補完する追加のコンサルティング機能を提供します。

Expert as a Service には、コンサルティングやプロジェクト管理の実施中に本サービス独自のリソースおよびスキル（シスコのツール、分析機能、ソフトウェア、ナレッジリソースおよびシステムなど）をお客様が活用できるというメリットがあります。

Expert as a Service では、以下のロールによるサービスを利用できます。

コンサルティングエンジニア：シスコは、見積書に記載されている特定のテクノロジー、アーキテクチャ、またはソリューションの設計、実装、運用、およびナレッジトランスファーに関するお客様の目標をサポートするためのコンサルティングアドバイスおよびガイダンスを提供します。

ソリューションアーキテクト：シスコは、見積書に記載されている特定のテクノロジー、アーキテクチャ、またはソリューションについて、お客様のアーキテクチャビジョン、IT 戦略の立案、およびアーキテクチャの選定をサポートするためのコンサルティングアドバイスおよびガイダンスを提供します。

4. アーキテクチャサポートおよびテクノロジーサポート

見積書に明記されているとおり、本サービスによりサポートされるアーキテクチャおよびテクノロジーは以下のとおりです。

4.1 ネットワーキング アーキテクチャ

- ルーティングとスイッチング テクノロジーの連携サービスでは、ルーティングされた Internet Protocol (IP) とスイッチングされたイーサネットトラフィック、ハードウェア、および仮想インフラストラクチャ アプライアンス、Software Defined のアクセス スイッチおよびコントローラを転送および/または処理するすべてのシスコ製品およびテクノロジーをサポートします。
- ワイヤレス ネットワーク テクノロジーに関するサービスでは、ワイヤレス LAN (WLAN) のアクセスポイント (AP)、ワイヤレスコントローラとワイヤレスネットワーク管理を含む、すべてのシスコ ユニファイド ネットワーク ワイヤレス製品をサポートします。
- ネットワーク管理およびオーケストレーション テクノロジーに関するサービスには、Cisco Application Policy

Infrastructure Controller エンタープライズモジュール (APIC-EM)、Cisco Digital Network Architecture (DNA) Center、Cisco Prime® infrastructure、Cisco PRIME Network、Cisco Prime Optical、Cisco Prime Central、Cisco Prime Performance Manager、Cisco Prime Provisioning、Cisco Prime Access Registrar、Cisco Prime Network Registrar、Cisco Evolved Programmable Network (EPN) Manager、Cisco WAN Automation Engine (WAE)、およびその他のシスコ OSS/ネットワーク管理ソフトウェアが含まれます。

- オプティカル ネットワーキング テクノロジーに関するサービスでは、DWDM、IPoDWDM、Optical Transport (OTN)、パケットオプティカル、回線エミュレーション、SONET および SDH を含むすべてのシスコオプティカル製品およびテクノロジーをサポートします。
- 次世代ケーブル アクセス テクノロジーに関するサービスでは、ケーブルモデム終端システム (CMTS)、シスコ コンバージド ブロードバンド ルータ (cBR-8) プラットフォーム、Evolved Converged Cable Access Platform (CCAP)、DOCSIS 3.1 移行、ケーブル用ブロードバンドアクセス制御 (BACC)、および Cisco Network Register (CNR) をサポートします。

4.2 データセンター アーキテクチャ

- コンピューティング システム テクノロジーに関するサービスでは、すべてのシスコデータセンターのコンピューティング製品、シスコ Hyperflex インフラストラクチャ プラットフォーム、ソフトウェアならびに、サーバーや管理ソフトウェアおよび接続性などのテクノロジーをサポートします。
- データセンター スイッチング テクノロジーの連携サービスでは、IP の転送もしくは処理またはその両方を行うすべてのシスコ データセンター スイッチング製品およびテクノロジー、スイッチングされたイーサネット、ストレージトラフィックおよび シスコ アプリケーション制御エンジンをサポートします。
- ストレージ エリア ネットワーク (SAN) の連携サービスでは、IP の転送もしくは処理またはその両方を行うすべてのシスコ データセンター SAN 製品およびテクノロジー、スイッチングされたイーサネット、およびストレージトラフィックをサポートします。
- Application Centric Infrastructure (AC) テクノロジーの連携サービスでは、ACI 対応 9000 スイッチおよびアプリケーション ポリシー インフラストラクチャ コントローラ (APIC) クラスターのすべてのデータセンター Cisco Nexus® ファミリをサポートします。
- データセンターのオーケストレーションおよび自動化テクノロジーに関するサービスでは、Cisco Unified Computing System™ (Cisco UCS®) Director (UCS-D)、Cisco Prime Service Catalog (PSC)、Cisco Process Orchestrator (CPO)、Cisco UCS Performance Manager (UCSPM)、Cisco UCS Manager (UCSM)、Cisco UCS Central (UCSC)、Cisco Cloud Center (CCC)、Cisco Prime Data Center Network Manager (DCNM)、ならびにその他将来のシスコインフラストラクチャおよびハイブリッドクラウドや IT 自動化ソフトウェア製品などの、Cisco ONE™ Enterprise Cloud Suite のソリューションをサポートします。

4.3 セキュリティアーキテクチャ

- ネットワーク セキュリティ サービス テクノロジーには、次世代ファイアウォールおよび次世代の侵入防御システム (IPS) およびコンテンツセキュリティ (電子メール/Web) を含む、シスコのセキュリティ製品およびソリューションが含まれます。

- クラウド セキュリティ サービス テクノロジーには、Cisco Umbrella™ を含む、Cisco クラウドセキュリティが含まれます。
- セキュリティポリシーおよびアクセス サービス テクノロジーには、Identity Services Engine (ISE) や AnyConnect® VPN などのシスコポリシーおよびアクセス製品が含まれます。
- Advanced Threat サービステクノロジーには、AMP (高度なマルウェア制御) テクノロジー、Stealthwatch® および Cognitive Threat Analytics などの Advanced Threat の製品やソリューションが含まれます。
- Tetration テクノロジーに関するサービステクノロジーでは、Cisco Tetration™ クラスタ (39RU、8RU、Tet-V、Cloud-TaaS)、センサー (ソフトウェアとハードウェア) およびソフトウェア サブスクリプション ライセンスをサポートします。

4.4 コラボレーション アーキテクチャ

- ユニファイド コミュニケーション (UC) テクノロジーに関するサービスでは、シスコ コラボレーション製品ファミリーおよびテクノロジーをサポートします。これには、コール制御、ボイスメール、インスタントメッセージおよびプレゼンス、分析およびレポート、緊急応答、モビリティおよびエンドポイントを含むことがあります。コール処理、ボイスメール、インスタントメッセージとプレゼンス、音声ゲートウェイ、テレフォニー エンドポイントを含む、シスコの製品およびアプリケーションが含まれます。
- ビデオ コラボレーション テクノロジーに関するサービスでは、シスコ コラボレーション製品ファミリーおよびテクノロジーをサポートします。これには、コール制御、ビデオ会議、専用会議室、分析とレポート、ルーム型およびイマーシブ型のビデオエンドポイント、デスクトップビデオエンド、パーソナル ビデオ エンドポイント、ビデオインフラストラクチャおよびビデオアプリケーションを含むことがあります。
- カスタマーケアテクノロジーに関するサービスでは、シスコ コラボレーション製品ファミリーおよびテクノロジーをサポートします。これには、コール制御、コールルーティング、自動音声応答装置、スクリプト作成、オムニチャネルやセルフ サービス ソリューションならびに、分析およびレポート作成を含むことがあります。
- Cloud Meetings and Messaging テクノロジーに関するサービスでは、シスコ コラボレーション製品ファミリーおよびテクノロジーをサポートします。これには、オンプレミスおよびクラウドの会議、専用会議室、分析とレポート作成、クラウド コラボレーション プラットフォームおよびハイブリッドサービス、ならびにクラウド インスタント メッセージおよびプレゼンスを含むことがあります。
- Unified Communications Manager (UCM) クラウドテクノロジーに関するサービスでは、シスコ コラボレーション製品ファミリーおよびテクノロジーをサポートします。これには、オンプレミスおよびクラウドコール処理、ボイスメールを含むことがあります。
- Webex Calling テクノロジーに関するサービスでは、シスコ コラボレーション製品ファミリーおよびテクノロジーをサポートします。これには、オンプレミス通話およびクラウド通話、分析、レポート作成、クラウド コラボレーション プラットフォームおよびハイブリッドサービス、ならびにクラウド インスタント メッセージおよびプレゼンスが含まれることがあります。
- Webex Contact Center テクノロジーに関するサービスでは、シスコ コラボレーション製品ファミリーおよびテクノロジーをサポートします。これには、オンプレミスおよびクラウドコンタクトセンター、分析とレポート作成、クラウド コラボレーション プラットフォームおよびハイブリッドサービス、ならびにクラウド インスタント メッセージおよびプレゼンスを含むことがあります。
- Webex Contact Center Enterprise テクノロジーに関するサービスでは、シスコ コラボレーション製品ファミリーおよびテクノロジーをサポートします。これには、オンプレミスおよびクラウドコンタクトセンター、分析とレポート作成、クラウド コラボレーション プラットフォームおよびハイブリッドサービス、ならびにクラウド インスタント メッセージおよびプレゼンスを含む

ことがあります。

4.5 SP モビリティアーキテクチャ

- Cisco Packet Core テクノロジーには、StarOS ASR 5000、StarOS ASR 5500 および StarOS VNF NFVI ベースの仮想パケットコアが含まれます。
- Mobility Policy and Access テクノロジーには Cisco Policy Suite (PCRF) が含まれています。

4.6 Internet of Things (IoT)

- 産業用ネットワーキング テクノロジーとコラボレーション テクノロジーと連携したサービスは、ルーティングされた Internet Protocol (IP) およびスイッチングされたイーサネットトラフィックの転送もしくは処理またはその両方を行うシスコの IoT 製品および IoT テクノロジー、ハードウェア、仮想インフラストラクチャ アプライアンス、Software Defined Access スイッチおよび Software Defined Access コントローラ (Cisco Industrial Wireless Backhaul 製品および Cisco Ultra-Reliable Wireless Backhaul 製品を含みます) 、ならびにこれらの製品と組み合わせて使用される IoT 管理アプリケーションおよび IoT ダッシュボード アプリケーションのすべてに対応しています。
- OT Integrity テクノロジーと連携したサービスは、Cisco Cyber Vision Center ソフトウェア、Cisco Cyber Vision Sensor ソフトウェア、Cisco Cyber Vision Center ハードウェアアプライアンス、Cisco Cyber Vision Sensor ハードウェアアプライアンス、産業用コンピューティング ゲートウェイ、産業用セキュリティアプライアンス (ISA) などのシスコのすべての産業用セキュリティ製品および産業用セキュリティテクノロジーに対応しています。

5. 一般的な役割と責任

5.1 シスコの責任 :

- お客様と協力して、本サービスディスクリプションの範囲内および見積書に記載されている範囲内で、お客様が指定したビジネス成果に関連し、お客様と相互に合意したアクティビティを特定します。
- 本サービスを提供する担当者を割り当て、監督および指導します。シスコは、本サービスを提供する担当者をいつでも変更することができます。なお、シスコは、作業負荷または作業内容の変更に対応するために担当者を変更する義務を負いません。シスコは、お客様と相互に合意したアクティビティに基づいて、必要な経験を見極め、人員およびリソースを割り当てます。また、シスコは契約期間全体にわたってリソースを均等に割り当てるよう努めます。
- シスコは、商業上の合理的な努力を尽くして、本サービスのキックオフミーティングおよびその後の計画でお客様と合意したアクティビティを完了させます。ただし、シスコは、スケジュールされたプロジェクト終了日またはサービス期間の終了日までにプロジェクトが問題なく完了することを保証しません。本サービスの提供はすべて、サービス期間の最終営業日に停止し、完了したとみなされます。

5.2 お客様の責任

- シスコと協力して、本サービスディスクリプションの範囲内で、シスコと相互に合意したプロジェクトおよびアクティビティを特定していただきます。
- 必要に応じて、シスコが提供する四半期レポートを確認するためのミーティングを、四半期に 1 回スケジュールします。
- キックオフミーティングで相互に合意した様式を用いて、書面でシスコのプロジェクトマネージャに要求を提出します。

- お客様には、業界標準へのあらゆる準拠に対する責任を負っていただきます。
- メンテナンス期間中、お客様には、該当するネットワークトラフィックの宛先を変更するための設定変更、シスコと合意したプロセスにおけるインターネット サービス プロバイダーおよびサードパーティベンダーとの関係の当事者であること、およびお客様のアプリケーションのアップグレード後の検証に対する責任を負っていただきます。

5.3 要件

- 一般的な要件
 - シスコは、自己の裁量により、本サービスディスクリプションに記載されているサービスのリソースを割り当てます。シスコが文書化したとおり、お客様が見積もり中に地域内のリソースを選択した場合、シスコは、サービスを提供する際に国内のスタッフのみを使用するように商業上合理的な努力を尽くしますが、国外のスタッフを使用することがあります。
 - 本サービスに関連する「成果」という用語の使用は、特定の成果または何らかの成果に関連する改善が達成されることを黙示するものではありません。
 - 行政機関の利益相反またはこれに類似する相反が存在する可能性のある、またはそのような相反が存在している様相を呈するプロジェクトまたはアクティビティのために本サービスディスクリプションに記載のサービスを使用することはできません。
- Scrum Service および Expert as a Service :
 - Scrum Service もしくは Expert as a Service またはその両方は、Cisco Lifecycle Services のアドオンとしてのみ利用でき、時間単位または実費精算ベースのサービスとして利用することはできません。
 - シスコは、Scrum Service もしくは Expert as a Service またはその両方を通じて、ビジネス成果の領域に関連する提供アクティビティに役立つ可能性があるシスコ製またはサードパーティ製のツールや製品を推奨する場合があります。お客様は、これらの追加品目を評価し、希望する場合には、これらを購入します。Scrum Service では、そのような機器、ツール、製品、およびサービスを提供する責任を負いません。
 - Scrum Service もしくは Expert as a Service は、シスコ インフラストラクチャのみに関連しています。シスコは、シスコが必要かつ実用的であると判断した場合に、お客様が提供するサードパーティの技術および機器プロバイダーと連携します。シスコは、サードパーティ製デバイスに関連する成果に対する責任を負わず、サードパーティ製機器を直接使用したアクティビティを行う義務を負いません。
 - キックオフミーティングにおいて、Scrum Service のための具体的なアクティビティについて検討し、依頼書面と回答書面の形式に沿って合意します。計画済みのアクティビティは四半期ごとに見直され、更新されます。新しいアクティビティが合意されると、シスコは、要求されているものが合理的であり、利用可能なリソースと時間と釣り合っていることを検証し、これを必要に応じて改善し、文書化します。
 - Scrum Service において、シスコはお客様のチームやパートナーと協力して共同の成果を生み出すことができます。また、シスコのプロジェクトマネージャは、各当事者の役割と責任が文書化されていることを確認します。
- データ収集 :
 - デジタルインサイトを通じて価値を提供するために、シスコはお客様の環境からデータを収集する必要があります。

- シスコは、お客様と協力して、お客様の環境に該当するデータ収集ツールをインストールします。
- お客様の環境内でシスコのデータ収集ツールを使用したデータ収集が行われない場合、お客様は、シスコが必要とするデータを手動で提供する必要があります。
- お客様が Air-Gapped Data Collection Tool を選択し、購入および利用可能にした場合、データはオンサイトで収集され、デジタル インサイトを通じて価値を提供するために使用されます。エアギャップされたデータ収集については、見積書作成時に事前に指定されている必要があります。
- シスコは、米国の連邦政府、州政府、地方政府およびその他の政府機関たるお客様が特定の規制上または政府固有の要件または制限を有している場合があることを認識しています。政府機関たるお客様がシスコのデータ収集ツールを導入することを法律、セキュリティ コンプライアンス ポリシー、またはセキュリティリスクポリシーが禁止している範囲において、両当事者は協力して、見積書の発行前にこれらの要件、制限、および禁止事項を特定する必要があります。かかる要件、制限、および禁止事項は、シスコが本サービスを提供する能力に影響を与える可能性があります。
- シスコ担当者の独立性
 - 本サービスは、本サービスディスクリプションに従って提供されるもので、シスコの特定の担当者に依存するものではありません。お客様は、シスコの担当者を自社の従業員として扱わないものとします。特定のシスコ担当者に関する質問または支援については、サービスガイドに記載されているとおり、シスコのサービス担当窓口にご連絡ください。

6. 用語一覧

このドキュメントで使用される用語の定義は、以下の通りです。

定義される用語	意味
Air-Gapped Data Collection Tool	お客様のネットワーク内にアプライアンスとして導入されたデータ収集ツール。データ収集ツールはお客様ネットワークの外部に接続しないため、収集されたデータはオンサイト内に残ります。通常、非常にセキュアな（「エアギャップに守られた」）ネットワークに使用されます。
プラットフォーム	シスコ製品ファミリ（例：ASR 9000 シリーズ、ASR 1000 シリーズ、NCS 5000 シリーズ）、および関連するソフトウェアリリース。
ソフトウェア機能	単一システム上のシスコテクノロジー、プロトコル、またはアプリケーションモジュールのユーザー設定可能な機能。